

iPad 入門カリキュラム: レッスン1

COVID-19 は私たちの生活に大きな変化をもたらしました。また、自宅待機命令を皮切りに私たちがつながり続ける新たな方法を見つけ出すことが求められています。多くの人が Zoom などのビデオ会議プラットフォームを使用し始めました。また、私たちのコミュニティ内でも家族や大切な人々がネット等のテクノロジーを生活に取り入れられるように試行錯誤されているのではないのでしょうか。Keiro では、この度6週間の iPad 入門コースを4つのレッスンにまとめて、ご家族の皆様がダウンロードして高齢者の方に iPad を教えられるようなテキストを準備させていただきました。この4つのレッスンでは、iPad を使用するための基礎を学習することで、皆様が快適に Zoom をダウンロードして活用するまでのレッスンを含めました。

テクノロジーの使い方を教えるのは敷居が高いことかもしれません。この講師ガイドは、iPad 入門カリキュラムの進め方を各レッスン毎にまとめている構成になっています。本書を使いながら、ご家族や大切な人に iPad や同様のタッチスクリーン端末の使用方法の基本を教えてください。教え始める前に、教える側が心得るべきポイントをまとめました。

- **気長に取り組む**
 - 習得には時間がかかります。そのことを前向きに捉えて、何度も繰り返し教える想定で考えましょう。
- **失敗を前向きに**
 - 失敗は学習のプロセスの一部です。ミスすることも学ぶ上では大切な過程の一つであることを伝えてください。
- **基礎を復習する**
 - 複雑な操作に移る前に基本的な操作(タッチスクリーン上でのタップやスワイプ)に慣れることが大切です。
- **操作は相手に任せる(手出ししない)**
 - デバイスに触れるのは学習する側のみを心がけます。言葉で説明し、操作は本人にしてもらいましょう。
- **重要なポイントは書き出す**
 - 後で参照できるように、手順を書き留めたり、図や絵にまとめる事を促します。
 - 忘れてしまった場合を想定して、デバイスで使用するユーザー名やパスワードを書き留めてもらいましょう。
- **休憩を取る**
 - 休憩を取ることで、情報を吸収して、習ったことを定着させる時間ができます。

レッスン 1

レッスン 1 の目標:

レッスン 1 で学習し、演習する内容:

- iPad のハードウェア・機械の各部に備わっている様々な機能を学ぶ
- iPad をオン/オフにする方法を学ぶ
- アプリを開く方法と閉じる方法を学ぶ
- iPad を充電する方法を学ぶ

ご準備いただく物:

- iPad
- ペン
- 紙

レッスン 1 の内容:

- iPad 機械の各部 (ハードウェア): ボタン
- iPad ハードウェア: その他のハードウェア
- iPad ハードウェア: iPad をオンにする
- iPad ハードウェア: iPad をオフにする
- iPad ハードウェア: iPad の充電
- iPad ハードウェア: ホーム画面
- iPad ハードウェア: アプリを開く/閉じる

iPad 機械の各部 (ハードウェア): ボタン

1. はじめに、iPad の機械の各部を理解してもらいましょう。学習中は、iPad をオフの状態を進めることで、ボタンを押している間の誤操作を防ぐことができます。
2. では、iPad の機械の各部 (ハードウェア) を紹介します。ハードウェアとは、機器に搭載されている実際のボタンやスイッチ、機能のことです。

3. 演習: iPad を手に持つ

- a. iPad を正面に向けて、正しく持ちます。iPad 前面にある小さな黒丸が上にくるようにして、iPad を垂直に持つように指示してください。
- b. Apple 社製品の特長の一つがボタンの数を最小限になるように設計していることです。そのため、iPad でもボタンを短く押ししたり、長押ししたりする際に、異なる動作をするようになっていきます。ボタンが iPad のどの場所にあるかを確認してもらってください。

4. 演習: ハードウェアを区別する

- a. 「ロック・電源ボタン」を指して場所を教えてください。

- b. 「ホームボタン」を指して場所を教えてください。
- c. 「音量ボタン」を指して場所を教えてください。
- d. 「消音スイッチ」を指して場所を教えてください。
5. iPad を扱う際、iPad を壊したり損傷したりするのを恐れて、非常にデリケートなものとして扱う方がよくいらっしゃいます。しかしながら、iPad は極めて耐久性の高いデバイスとして設計されています。とはいえ、絶対に壊れないというわけではないので、その点は注意しましょう。iPad を落としたり、iPad に液体をこぼしたりすると、修理代が非常に高くかかってしまうこともあります。

iPad ハードウェア:その他のハードウェア

1. iPad には、他にもハードウェアがあることを理解してもらってください。
2. **演習:ハードウェアを区別する**
 - a. 充電ポート
 - b. スピーカー
 - c. ヘッドホンジャック
 - d. 正面カメラ
 - e. 背面カメラ

iPad ハードウェア:iPad をオンにする

1. ここでは iPad をオン/オフにする方法を教えます。iPad をオフにすることでバッテリーを節約できます。また、飛行機に乗ったときなど、すべての電子機器をオフにする必要のある状況において知っておくと便利な情報です。
2. **演習:iPad をオンにする**
 - a. iPad をオンにする方法
 - i. 「ロック・電源ボタン」を長押しします。
 - ii. 白い画面と Apple ロゴが表示されたら「ロック・電源ボタン」を離します。
 - iii. iPad がオンになります。

iPad ハードウェア:iPad をオフにする

1. **演習:iPad をオフにする**
 - a. iPad をオフにする方法
 - i. 「ロック・電源ボタン」を長押しします。
 - ii. 画面の色が変わったら「ロック・電源ボタン」を離します。
 1. 画面の上部に「スライドで電源をオフ」と書かれたスライドが表示されます。
 2. 丸印のアイコンに指を乗せて、左から右へと指を滑らせます。

3. iPad がオフになります。

iPad ハードウェア:iPad の充電

1. iPad は、使用量に合わせて定期的に充電する必要があります。iPad を使用することが多くなるほど、バッテリーを充電する頻度も増えます。また、iPad が古くなるほど、バッテリーの消耗が早くなります。iPad をオンのままにしている間はバッテリーを消費するので注意しましょう。iPad を完全にオフにすれば、バッテリーの寿命が延びます。充電するには、充電ケーブルを用意し、充電ケーブルの小さい方の端を iPad の充電ポートに差し込んでください。大きい方の端をキューブ型でコンセントの口がついている「USB 電源アダプタ」に差し込み、それをコンセントに差し込んでください。
2. iPad のバッテリー残量は、「ホーム」画面の右上に表示されます。バッテリーの残りが 20%と 10%になったときに警告が表示されます。

iPad ハードウェア:ホーム画面

1. iPad を「ロック解除」してもらいましょう。ロックを解除すると、iPad の「ホーム」画面に戻ります。「ホーム」画面は、iPad 内のあらゆるものを見つけられる場所です。「ホーム」画面に表示されるさまざまなアイコンにどのようなものがあるかを説明してください。
2. アプリケーション
 - a. アプリケーションは「アプリ」とも言います。ホーム画面全体にいくつも表示されている正方形のアイコンは、iPad にあらかじめインストールされているさまざまなアプリケーションです。
3. タッチスクリーン
 - a. タッチスクリーンを使用する際には、指の使い方を意識してもらう必要があります。使うのは指の腹だけで、爪は使わないようにしてください。また、指の代わりに特殊な「スタイラス」ペンを使用することもできます。「スタイラス」ペンの先端は特殊なゴムでできているので、iPad のようなタッチスクリーン型のデバイスに使用できます。
4. 演習:アプリを開く/閉じる
 - a. ここでは、「アプリ」を「ホーム画面」から開く練習をしてもらいます。
 - i. 開く「アプリ」をタップする。
 - b. ここでは、「ホーム画面」に戻る練習をしてもらいます。閉じるアイコンをクリックする従来のコンピューターとは異なり、iPad 上の「ホーム」ボタンを使用する必要があります。
 - i. 「ホームボタン」を短く押して「ホーム画面」に戻る

1. 「ホームボタン」を押す時間が長すぎると、iPad は別の機能を実行することがあります。ホーム画面に戻るために必要な作業は、「ホームボタン」を短く押すことだけです。
5. iPad の「タッチスクリーン」では、画面上のやり取りを、ワンタッチまたは複数回タッチするシンプルな操作で行います。別の言い方をすれば、いくつかの指を用いる方法や画面を押す長さによって、iPad が実行するアクションが変わるということです。
6. 画面を短くタップせずに、「アプリ」に対して指を長押しした場合は異なるアクションが実行されることを理解しておく必要があります。「アプリ」を開こうとしたにも関わらず「アプリ」が開いていないことに気付いた場合は、押している時間が長すぎる可能性があります。

iPad 入門カリキュラム: レッスン2

COVID-19 は私たちの生活に大きな変化をもたらしました。また、自宅待機命令を皮切りに私たちがつながり続ける新たな方法を見つけ出すことが求められています。多くの人が Zoom などのビデオ会議プラットフォームを使用し始めました。また、私たちのコミュニティ内でも家族や大切な人々がネット等のテクノロジーを生活に取り入れられるように試行錯誤されているのではないのでしょうか。Keiro では、この度6週間の iPad 入門コースを4つのレッスンにまとめて、ご家族の皆様がダウンロードして高齢者の方に iPad を教えられるようなテキストを準備させていただきました。この4つのレッスンでは、iPad を使用するための基礎を学習することで、皆様が快適に Zoom をダウンロードして活用するまでのレッスンを含めました。

テクノロジーの使い方を教えるのは敷居が高いことかもしれません。この講師ガイドは、iPad 入門カリキュラムの進め方を各レッスン毎にまとめている構成になっています。本書を使いながら、ご家族や大切な人に iPad や同様のタッチスクリーン端末の使用法の基本を教えてください。教え始める前に、教える側が心得るべきポイントをまとめました。

- **気長に取り組む**
 - 習得には時間がかかります。そのことを前向きに捉えて、何度も繰り返し教える想定で考えましょう。
- **失敗を前向きに**
 - 失敗は学習のプロセスの一部です。ミスすることも学ぶ上では大切な過程の一つであることを伝えてください。
- **基礎を復習する**
 - 複雑な操作に移る前に基本的な操作(タッチスクリーン上でのタップやスワイプ)に慣れることが大切です。
- **操作は相手に任せる(手出ししない)**
 - デバイスに触れるのは学習する側のみを心がけます。言葉で説明し、操作は本人にしてもらいましょう。
- **重要なポイントは書き出す**
 - 後で参照できるように、手順を書き留めたり、図や絵にまとめる事を促します。
 - 忘れてしまった場合を想定して、デバイスで使用するユーザー名やパスワードを書き留めてもらいましょう。
- **休憩を取る**
 - 休憩を取ることで、情報を吸収して、習ったことを定着させる時間ができます。

レッスン 2

レッスン 2 の目標:

レッスン 2 で学習し、演習する内容:

- iPad でスワイプする方法を身に付ける
- iPad でタップする方法を身に付ける
- 内蔵キーボードを使用して iPad で入力する方法を学ぶ

ご準備いただく物:

- iPad
- ペン
- 紙

レッスン 2 の内容:

- レッスン 1 の復習
- iPad で「スワイプ」する方法を練習する
- iPad で「タップ」する方法を練習する
- 内蔵キーボードを使用する

レッスン 1 の復習

1. 演習:ハードウェアの復習

- a. iPad のさまざまなボタンやハードウェアを確認する
 - i. ロック・電源ボタン
 - ii. ホームボタン
 - iii. 音量ボタン
 - iv. 消音スイッチ
 - v. 充電ポート
 - vi. スピーカー
 - vii. ヘッドホンジャック
 - viii. 正面カメラ
 - ix. 背面カメラ
- b. iPad を充電する方法を説明してもらってください
- c. iPad をオン/オフにする方法を説明してもらってください
- d. ホーム画面に何があるかを説明してもらってください

スワイプ

1. iPad をスワイプできるようにして、タッチスクリーンの使い方に慣れることが大切です。
2. 演習:スワイプ
 - a. 人差し指を使って、iPad のタッチスクリーンを 1 回スワイプしてもらってください。あらゆる方向にスワイプして、スワイプに慣れるための練習をしてください。

タップ

1. タップは、アプリケーションを開くことから内蔵キーボードの入力まで、iPad のさまざまな動作で使用します。
2. 演習:タップ
 - a. カメラアプリを開く動作で、iPad をタップする練習をしてもらってください。人差し指を使って、カメラアプリのアイコンをタップしてアプリを開きます。
 - b. ホームボタンを押して、カメラアプリを閉じてもらってください。

iPad の入力

1. iPad が従来のコンピューターと大きく違う点は、キーボードがないことです。iPad では内蔵キーボードを使用して、通常の入力作業をすべて行うことができます。
2. iPad で入力の練習をするには、「メモ」アプリケーションを使用します。
3. 演習:メモアプリを開く
 - a. ホーム画面から「メモ」アプリケーションを開いてもらってください。「メモ」アプリケーションのアイコンは資料で確認できます。アイコンは、メモ帳のようなデザインをしています。
 - b. 「メモ」アプリケーションを開く
 - i. このアプリケーションの機能を理解してもらうためにレイアウトを説明してください。右上には 3 つのアイコンがあります。「ゴミ箱」アイコンを使用すれば、メモを削除できます。真ん中のアイコンはこの授業では関係ありません。「新規メモ」アイコンを使用すれば、新しいメモを作成できます。画面の中央に点滅する青または黄色の行がありますが、これはカーソルです。メモ内で入力する文字の場所を示しています。
 - c. 演習:新規メモを作成する
 - i. 「新規メモ」アイコンをタップしてもらってください。
 - ii. 内蔵キーボードにアクセスするには、画面の中央をタップする必要があります。
 - d. 「メモ」アプリ内で入力する(英文字の入力)
 - i. もしコンピューターやタイプライターの使用経験がある場合、内蔵キーボードのレイアウトはなじみがあるかもしれませんが、文字、数字、記号に対応するキーがそれぞれあります。また、キーボードの右側か左側に、特殊なファンクションキーがあります。

- ii. 「バックスペース」キーをタップすると、カーソルの左側にある文字が削除されます。「リターン」キーをタップすると、カーソルが次の行に移動します。
- iii. 「大文字」キーをタップすると、次に入力する文字が大文字(または小文字)になります。大文字キーをタップすると、キーボードに表示される文字も大文字(または小文字)に変わることを確認してください。
- iv. 「.?!23」キーをタップすると、数字や記号を表示するキーボードに切り替わります。「.?!23」キーをタップすると、キーボードに文字が表示されなくなり、「.?!23」キーが「ABC」キーに変わっていることを確認してください。「ABC」キーをタップすると、文字を表示するキーボードに戻ります。

e. 演習:入力する

- i. 姓、名を入力して、キーボードの使い方を練習してもらってください。
 - 1. 英語の辞書にない単語を入力すると「メモ」アプリケーションに赤い下線が表示されます。苗字や日本語をローマ字表記で入力する場合、このように赤い下線が引かれる事が多くみられます。
- ii. iPad の付属品にはマウスがありませんが、「メモ」アプリでは指がマウス代わりになります。画面上の、カーソルを移動させたい場所をタップするだけで、カーソルが移動します。

f. 演習:間違いを訂正する

- i. 間違いを削除するにはバックスペースキーをタップします。
 - 1. 大文字キーをタップして苗字の最初の一文字を入力した後、キーボードに表示されている文字が自動的に小文字に戻ったことも教えてあげてください。
- ii. メモ内に作成した誤りの近くをタップしてください。タップした場所にカーソルが移動したことを教えてあげてください。

iPad 入門カリキュラム: レッスン3

COVID-19 は私たちの生活に大きな変化をもたらしました。また、自宅待機命令を皮切りに私たちがつながり続ける新たな方法を見つけ出すことが求められています。多くの人が Zoom などのビデオ会議プラットフォームを使用し始めました。また、私たちのコミュニティ内でも家族や大切な人々がネット等のテクノロジーを生活に取り入れられるように試行錯誤されているのではないのでしょうか。Keiro では、この度6週間の iPad 入門コースを4つのレッスンにまとめて、ご家族の皆様がダウンロードして高齢者の方に iPad を教えられるようなテキストを準備させていただきました。この4つのレッスンでは、iPad を使用するための基礎を学習することで、皆様が快適に Zoom をダウンロードして活用するまでのレッスンを含めました。

テクノロジーの使い方を教えるのは敷居が高いことかもしれません。この講師ガイドは、iPad 入門カリキュラムの進め方を各レッスン毎にまとめている構成になっています。本書を使いながら、ご家族や大切な人に iPad や同様のタッチスクリーン端末の使用法の基本を教えてください。教え始める前に、教える側が心得るべきポイントをまとめました。

- **気長に取り組む**
 - 習得には時間がかかります。そのことを前向きに捉えて、何度も繰り返し教える想定で考えましょう。
- **失敗を前向きに**
 - 失敗は学習のプロセスの一部です。ミスすることも学ぶ上では大切な過程の一つであることを伝えてください。
- **基礎を復習する**
 - 複雑な操作に移る前に基本的な操作(タッチスクリーン上でのタップやスワイプ)に慣れることが大切です。
- **操作は相手に任せる(手出ししない)**
 - デバイスに触れるのは学習する側のみを心がけます。言葉で説明し、操作は本人にしてもらいましょう。
- **重要なポイントは書き出す**
 - 後で参照できるように、手順を書き留めたり、図や絵にまとめる事を促します。
 - 忘れてしまった場合を想定して、デバイスで使用するユーザー名やパスワードを書き留めてもらいましょう。
- **休憩を取る**
 - 休憩を取ることで、情報を吸収して、習ったことを定着させる時間ができます。

レッスン 3

レッスン 3 の目標:

レッスン 3 で学習し、演習する内容:

- Wi-Fi の基礎を学ぶ
- App Store の使用方法を学ぶ

ご準備いただく物:

- iPad
- ペン
- 紙

レッスン 3 の内容

- レッスン 2 の復習
- Wi-Fi について学ぶ
- App Store の使用方法を学ぶ

レッスン 2 の復習

1. メモアプリに入力する方法を説明してもらってください。
2. **演習:メモアプリを使用する**
 - a. メモアプリを開く
 - b. 「新規メモ」アイコンをタップする
 - c. 画面の中央をタップして、内蔵キーボードを表示する
 - d. 姓、名を入力する
3. 間違いや誤字を修正する方法を説明してもらってください。
4. **演習:間違いを修正する**
 - a. タップしてカーソルを移動する
 - b. 「バックスペース」キーをタップして誤字を削除する
 - c. 正しい単語を入力する

Wi-Fi とは(5 分間)

1. この説明を始める際に、あらかじめ iPad を Wi-Fi に接続した状態にしておくことをお勧めします。そうすることで、レッスンの本題であるアプリのダウンロードに集中でき、Wi-Fi の接続にかかる様々なタップ手順を省くことができます。
2. Wi-Fi または無線インターネットに iPad を接続する方法を教えてください。接続することにより、iPad でできることがさらに増えます。

3. Wi-Fi とは無線接続とその技術のことであり、Wi-Fi を使用すれば、iPad、携帯電話、ノートパソコンのような電子機器をインターネットに接続できるようになります。この技術は、無線信号を使用して、機器とインターネットの間で情報を送信することを可能とします。
4. 「ハブ」や「ルーター」と呼ばれるデバイスは、インターネットから電波へ情報を変換するのに使用します。ただし、電波は遠くには送信できないため、「ルーター」は、近い距離でのみ Wi-Fi を提供します。このため、「ルーター」は自宅に Wi-Fi を供給できますが、家の道路には Wi-Fi を供給できません。
5. 今では、自宅や会社、教会、コミュニティセンター、ホテル、レストランに「ルーター」を設置することが一般的になっています。ただし、Wi-Fi にアクセスするには、パスワードを使用しなければならないことが多いです。

App Store

1. iPad 上で様々なアプリケーション、つまりアプリを開ける方法を学びました。それぞれのアプリには固有の目的があります。一部のアプリは事前に iPad にインストールされています。その中でも、*App Store* アプリでは、他の様々なアプリをダウンロードできるようになっており、それぞれに合ったものをダウンロードすることができるアプリです。*App Store* アプリでは何百万もの候補からアプリをダウンロードして、iPad にインストールすることができます。
2. *App Store* アプリを開いてもらってください。*App Store* アプリのアイコンは資料で確認できます。アルファベットの「A」のようなデザインになっています。
3. 演習: *App Store* を使用する
 - a. *App Store* アプリを開く
 - b. このアプリの機能を理解してもらうためにレイアウトを説明してください。アプリの下部にアイコンがいくつかあります。これらのアイコンを使い分けて、ダウンロードできるアプリを検索することができます。青で強調表示されるアイコンが今自分が選択している画面になります。
 - c. 「検索」フィールドでは特定のアプリを検索できます。アプリの名前かアプリに関連するキーワードを指定することで検索できます。
 - d. 「検索」フィールドをタップする
 - e. 「Zoom」を入力する
 - f. 「検索」をタップする
 - g. 「Zoom」アプリを検索すると、*App Store* アプリに「Zoom」アプリや、「Zoom」アプリに似た他のアプリが表示されていることを確認してください。人差し指を使って「Zoom」アプリの検索結果をタップすると、アプリに関する詳細情報が表示されます。
 - h. 「Zoom」アプリをタップすると、「Zoom」アプリの機能に関する詳細情報を閲覧することができます。

- i. iPad へのダウンロードをすることもできます。「入手」アイコンが表示されているので、このアプリが無料であることがわかります。アプリが有料の場合は価格が表示されます。
- j. 「入手」アイコンをタップします。
- k. 「インストール」アイコンをタップします。
- l. Apple ID やパスワードの入力を求められることがありますので、お手元に情報を準備しておいてください。
- m. ダウンロードが完了すると、アプリが「ホーム画面」に表示されます。アプリを開いて、アプリを利用することができます。

iPad 入門カリキュラム: レッスン4

COVID-19 は私たちの生活に大きな変化をもたらしました。また、自宅待機命令を皮切りに私たちがつながり続ける新たな方法を見つけ出すことが求められています。多くの人が Zoom などのビデオ会議プラットフォームを使用し始めました。また、私たちのコミュニティ内でも家族や大切な人々がネット等のテクノロジーを生活に取り入れられるように試行錯誤されているのではないのでしょうか。Keiro では、この度6週間の iPad 入門コースを4つのレッスンにまとめて、ご家族の皆様がダウンロードして高齢者の方に iPad を教えられるようなテキストを準備させていただきました。この4つのレッスンでは、iPad を使用するための基礎を学習することで、皆様が快適に Zoom をダウンロードして活用するまでのレッスンを含めました。

テクノロジーの使い方を教えるのは敷居が高いことかもしれません。この講師ガイドは、iPad 入門カリキュラムの進め方を各レッスン毎にまとめている構成になっています。本書を使いながら、ご家族や大切な人に iPad や同様のタッチスクリーン端末の使用法の基本を教えてください。教え始める前に、教える側が心得るべきポイントをまとめました。

- **気長に取り組む**
 - 習得には時間がかかります。そのことを前向きに捉えて、何度も繰り返し教える想定で考えましょう。
- **失敗を前向きに**
 - 失敗は学習のプロセスの一部です。ミスすることも学ぶ上では大切な過程の一つであることを伝えてください。
- **基礎を復習する**
 - 複雑な操作に移る前に基本的な操作(タッチスクリーン上でのタップやスワイプ)に慣れることが大切です。
- **操作は相手に任せる(手出ししない)**
 - デバイスに触れるのは学習する側のみを心がけます。言葉で説明し、操作は本人にしてもらいましょう。
- **重要なポイントは書き出す**
 - 後で参照できるように、手順を書き留めたり、図や絵にまとめる事を促します。
 - 忘れてしまった場合を想定して、デバイスで使用するユーザー名やパスワードを書き留めてもらいましょう。
- **休憩を取る**
 - 休憩を取ることで、情報を吸収して、習ったことを定着させる時間ができます。

レッスン 4

レッスン 4 の目標:

レッスン 4 で学習し、演習する内容:

- Zoom アプリの使用方法を学ぶ
- Zoom 通話の使用方法を演習する

ご準備いただく物:

- iPad
- ペン
- 紙

レッスン 4 の内容:

- レッスン 3 の復習
- Zoom アプリをダウンロードする
- Zoom アカウントを作成する
- 演習用の Zoom 通話に参加する

レッスン 3 の復習

1. ゲームやアプリを iPad にダウンロードする方法を説明してもらってください。
2. **演習: App Store を使用する**
 - a. *App Store* アプリを開く
 - b. 「検索」フィールドをタップして「ブラックジャック」と入力する
 - c. 「ブラックジャック」アプリをタップする
 - d. 「入手」アイコンをタップする
 - e. 「インストール」アイコンをタップする

Zoom アカウントを作成する

1. 「Zoom」アプリをまだダウンロードしていなかった場合は、アプリをダウンロードしてもらってください。
2. 「Zoom」アプリをダウンロードしたら、「Zoom」アカウントを設定する方法を教えてください。
3. **演習: Zoom アカウントの作成**
 - a. 「Zoom」アプリをタップしてアプリを開きます。
 - b. 「サインアップ」アイコンをタップします。

- c. 年齢確認のため誕生日を入力してもらいます。年、月、日をそれぞれのフィールドに入力します。
- d. 次の画面で、メールアドレス、姓、名を入力します。
- e. 「サービス利用規約」に合意するため、文字の左の丸いボタンをタップします。
- f. そうすると、画面の右上にある「サインアップ」アイコンをタップできるようになります。
- g. Eメールを開き、Zoom からの確認メールがあることを確認します。
- h. 確認メールを開いたら、メール内にある青い「アクティブなアカウント」アイコンをクリックできます。
- i. 姓、名を入力して、Zoom アカウントのパスワードを作成する必要があります。
 - i. 忘れた場合に手元で確認できるように、パスワードをメモすることをお勧めします。
- j. 「続ける」アイコンをタップします。

Zoom ミーティングに参加する

1. 演習用の Zoom ミーティングに参加して、「Zoom」アプリの使い方を練習してもらいましょう。
2. 教える側は、開催者として、デバイス(コンピューターやモバイル端末、タブレット)で Zoom ミーティングを設定する必要があります。
3. 次に、ミーティングに参加する人にミーティング ID を知らせます。
4. **演習: Zoom ミーティングに参加する**
 - a. 「Zoom」アプリをタップして、アプリを開きます。
 - b. アプリにサインインしていない場合は、サインインします。
 - c. 次に、青い「参加」アイコンをタップしてもらいます。
 - d. 共有したミーティング ID を入力します。
 - e. 青い「参加」アイコンをタップします。
 - f. これで、Zoom ミーティングに参加している状態になります。